

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 5 年 7 月 8 日

事業所名 放課後等デイサービスCocoro東岡崎教室

		チェック項目	はい	どちらか	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	3	0	利用人数が多い時などは時間別の遊びなどを取り入れ、気にならないように工夫している。	教室に入るまでに階段がありバリアフリーにはなされていない。今までにバリアフリーの必要な対象者がいなかったが今後検討していく。
	2	職員の配置数は適切である	11	0	0	十分に必要な職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	5	0		入り口の階段は急で今後改善できる点は検討して改善していく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	8	3	0	個別支援計画に基づいた支援を心掛けており、振り返りも行っている。	今は良いサイクルができてつあるため今後もスタッフの参画を促していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	1	1		あまり保護者から意見が上がってこないのも、もう少し意見を言える環境を作っていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	3	0	ホームページで公開をしている。	ホームページで公開していることを今後広く利用者に周知していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	5	1	第三者委員会の評価は行っていない	今後時期を見て外部評価を行いたいと思っている
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2	1	コロナの影響で前半はできなかった	後は県の開催する研修等にもどんどん参加していただきたい
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	8	2	1	アセスメントは時間をかけて行い、保護者はかりでなく子供のニーズも踏まえた上での支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	5	1	参加されたアセスメントツールを使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	2	2	全員ではないがチームで立案は行っている	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	2	0	固定化しないように工夫はしている。	平日などは同じようなイベントになってしまうが、今後工夫をしていくように考える。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	4	0	長期休暇等は個別に課題を決めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7	3	1	その子に合わせて個別と集団と分けている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	3	1		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	0		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	1	2	問題点を話し合い改善につなげている。 記録は毎日とっている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	2	0	半年に1回ないしそれ以前に必ずモニタリングを行い個別支援計画の見直しをしている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	2	1	4つの基本活動を組み合わせている。	今回地域交流の機会の基本活動は、コロナの影響で出来ていない	